

平成28年度施策評価調書

整理番号	21
評価担当課	経済部営業戦略課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	金融の円滑化(4-3-4)		
総合計画の位置づけ	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
	主要施策	3	商業の振興

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	中小企業の育成及び振興並びに経営の合理化を促進し、その経済的地位の向上と事業運営の基礎となる資金需要の円滑化を図り、本市経済の発展に資する。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	市内各金融機関へ原資を預託、中小企業特別融資の斡旋
施策の課題	過疎化における人口減少により、地域内商圈の縮小が懸念される中、中小企業者の新たな地域産業の構築、経営基盤の強化、それらに伴う人材の育成は重要な課題となっている。これら事業の運営に必要な不可欠な資金のあわせん及び保証料・利子等の補給を行うことにより、企業運営の円滑化を図る必要がある。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度 (年度)
経営資金	実際に融資を行った件数	目標値	50	47	32	
		実績値	50	47	32	
		進捗率	100%	100%	100%	
設備資金	実際に融資を行った件数	目標値	15	23	22	
		実績値	15	23	22	
		進捗率	100%	100%	100%	
信用保証料補助金	実際に補助を行った件数	目標値	32	30	22	
		実績値	32	30	22	
		進捗率	100%	100%	100%	
利子補給補助金	実際に補助を行った件数	目標値	68	89	115	
		実績値	68	89	115	
		進捗率	100%	100%	100%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	新規開業資金の利用は低迷しているが、その他資金の活用は一定程度の成果は出ている。年数件の新規開業する事業者もあり、自己資金で対応しているため資金利用がないと考えられ、順調と判断した。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後においても、中小企業の育成及び振興並びに経営の合理化を促進し、その経済的地位の向上と事業運営の基礎となる資金需要の円滑化を目指した融資のあっせん、保証料・利子の補給を行っていく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり。0金利政策より効果は大きいと思う。引き続き実施してほしい。

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	中小企業経営等融資事業【中小企業特別融資事業】	市内各金融機関へ原資を預託、中小企業特別融資の斡旋	430,000	a	a	a	a	a	A	A	A
2	特別融資利子・保証料補給事業	中小企業特別融資における保証料及び利子の一部を補助	4,134	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	21	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	経済部営業戦略室営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	中小企業経営等融資事業【中小企業特別融資事業】			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	3	商業の振興
		基本事業	4	金融の円滑化
		実施計画事業	1	融資制度の充実

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	中小企業の育成及び振興並びに経営の合理化を促進し、その経済的地位の向上と事業運営の基礎となる資金需要の円滑化を図り、本市経済の発展に資する。				
対象(何を又は誰を)	中小企業者等				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	中小企業特別融資の斡旋				
意図(どのような成果を期待しているか)	中小企業の育成と振興及び本市経済の発展。				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等	請負 <u>その他(預託)</u>
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期年度)	<u>無</u>
根拠法令・条例等	名寄市中小企業振興条例				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 経営資金	件	目標	—	—	—	—	—
			実績	50	47	32	30	—
	2 設備資金	件	目標	—	—	—	—	—
			実績	15	23	22	25	—
3 新規開業資金	件	目標	—	—	—	—	—	
		実績	0	0	0	1	—	
成果指標	1 経営資金	件	目標	—	—	—	—	—
			実績	50	47	32	30	—
	2 設備資金	件	目標	—	—	—	—	—
			実績	15	23	22	25	—

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	402,800	410,500	430,000	589,000	経営資金 32件 170,000千円 設備資金 22件 256,000千円 新規開業資金 0件 4,000千円 (繰り越し分の預託金のみ)
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	402,800	410,500	430,000	589,000	
人件費	601	597	584	562	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.09	0.09	0.09	0.09	
総事業費	403,401	411,097	430,584	589,562	
対前年比(%)	—	102	105	137	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	6,196	5,864	7,962	総事業費/支援件数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	人口減少等による経済圏の縮小が現状・将来的にも大きな課題となっている。新たな地域産業確立に向け、中小企業経営基盤強化に直結する資金運営は今後においても重要な位置を占める。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	中小企業の事業運営の基礎となる資金需要の円滑化を図る上での、融資のあっせんは重要な位置を占めている。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	市内各金融機関へ原資を預託し、各種資金を設定し融資のあっせんを行っている。金融機関を通じることで、資金管理及び経営指導が徹底される。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	新規開業資金の利用実績が低迷しているが、他資金の融資件数及び融資額も一定程度の以上の実績を出しており、中小企業の資金需要の運用に成果が出ている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	融資枠は国や道に順じ、毎年市内各金融機関と協議の上設定されている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	新規開業資金の利用実績が低迷しているが、他資金の活用実績は出ている。各種事業と連携し新規開業資金の活用誘導を図る必要がある。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	中小企業の事業運営の基礎となる資金需要の円滑化を図る上での、融資のあっせんは重要な位置を占めており、今後においても、新たな地域産業の構築・経営基盤の強化に向けて重要な意味をなすことから、現状のまま継続と判断した	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	新規利用が数年ないが、それに向けた働きかけも必要ではないか。

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	21	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	経済部営業戦略室営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	特別融資利子・保証料補給事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
		主要施策	3	商業の振興
		基本事業	4	金融の円滑化
		実施計画事業	1	融資制度の充実

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	中小企業の育成及び振興並びに経営の合理化を促進し、その経済的地位の向上と事業運営の基礎となる資金需要の円滑化を図り、本市経済の発展に資する。				
対象(何を又は誰を)	中小企業者等				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	中小企業特別融資における保証料及び利子の一部を補助				
意図(どのような成果を期待しているか)	中小企業の育成と振興及び本市経済の発展。				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等	請負 その他(預託)
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期年度)	無
根拠法令・条例等	名寄市中小企業振興条例				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 信用保証料補助金	件	目標	—	—	—	—	—
			実績	32	30	22	30	—
	2 利子補給補助金	件	目標	—	—	—	—	—
			実績	68	89	115	90	—
3		目標						
		実績						
成果指標	1 信用保証料補助金	件	目標	—	—	—	—	—
			実績	32	30	22	30	—
	2 利子補給補助金	件	目標	—	—	—	—	—
			実績	68	89	115	90	—

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	4,745	5,094	4,134	7,500	保証料補助金 22件 1,305千円 利子補給補助金 115件 2,829千円
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	4,745	5,094	4,134	7,500	
人件費	601	597	584	562	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.09	0.09	0.09	0.09	
総事業費	5,346	5,691	4,718	8,062	
対前年比(%)	—	106	83	171	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	53	47	34	総事業費/支援件数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	人口減少等による経済圏の縮小が現状・将来的にも大きな課題となっている。新たな地域産業確立に向け、中小企業経営基盤強化に直結する資金運営は今後においても重要な位置を占める。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	中小企業の事業運営の基礎となる資金需要の円滑化を図る上での、信用保証料・利子の補給は重要な位置を占めている。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	各融資件数及び融資額が一定程度以上の実績を出していることから、中小企業の資金需要の運用に成果が出ている。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	新規開業資金の利用実績が低迷しているが、他資金の融資件数及び融資額も一定程度の以上の実績を出しており、中小企業の資金需要の運用に成果が出ている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	融資枠、保証料・利子等の補給は国や道に順じ、毎年市内各金融機関と協議の上設定されている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	信用保証料の利用実績は低迷しているが、補助事業全体として実績がでている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	中小企業の事業運営の基礎となる資金需要の円滑化を図る上での、信用保証料・利子の補給は重要な位置を占めており、今後においても、新たな地域産業の構築・経営基盤の強化に向けて重要な意味をなすことから、現状のまま継続と判断した	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり